

平成25年行政事業レビューシート

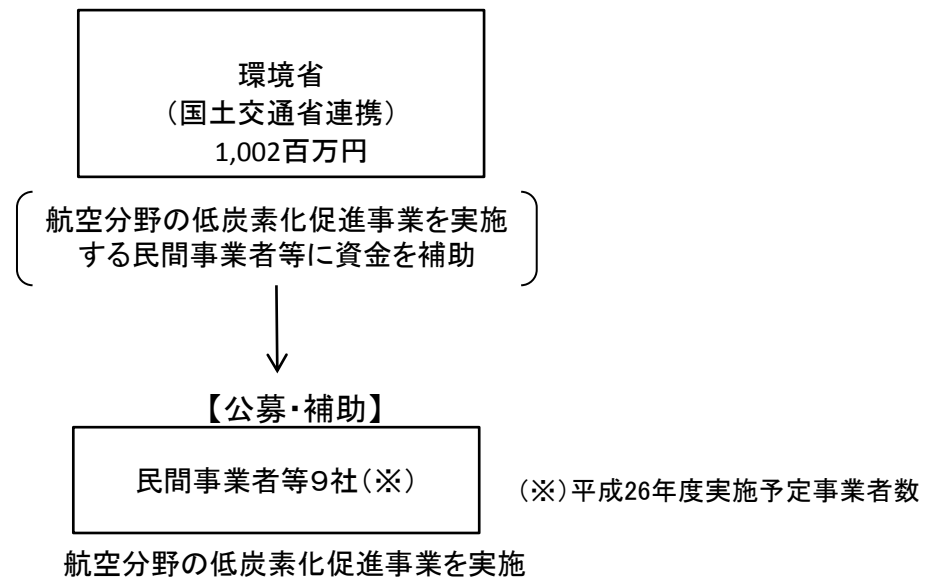
(環境省)

事業名	航空分野の低炭素化促進事業 (国土交通省連携事業)		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成28年度		担当課室	地球温暖化対策課		課長 和田篤也	
会計区分	エネルギー対策特別会計エネルギー需給勘定		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号 同法施行令第50条第7項第9号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	航空分野からのCO2排出量は、今後市場の成長に伴い増加が予想されており、航空機の運航や空港の運営に伴い消費されるエネルギーの削減を図り、その結果としてCO2の排出削減に寄与していくことが必要である。このため、航空交通システムの高度化及び空港における減エネ・CO2削減対策等を推進させることにより、航空分野における社会インフラの低炭素化を推進・普及させていく。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) 運航効率改善に伴う低炭素化促進事業 ルート短縮等を可能とする新しい運航方式の導入によるCO2排出削減のため、新方式に対応していない航空機に対して、新方式に対応させるために必要なシステム及び機器等の導入費用の一部を補助する。(補助率:1/2) (2) エコエアポートにおける空港関連施設低炭素化促進事業 空港ビルや空港の地上施設等の低炭素化を促進し、また、災害時等においても一定のエネルギー供給を可能にするため、空港のGPU (Ground Power Unit) 施設、高効率照明の導入並びに空港内特殊車両のエコ化等の導入費用の一部を補助する。(補助率:1/2)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					1,002
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	年間のCO2削減量(直接効果)	成果実績	t-CO2/年				4,658
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	(1) 航空機改修対象機数 (2) 低炭素化促進事業実施施設(空港)数	活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
					()	()	((1)28機、 (2)7施設)
単位当たりコスト	215(千円/tCO2削減量あたり)		算出根拠	予算額(1,002百万円)÷平成26年度のCO2削減目標値(4,658t)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金		1,002				
	計		1,002				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	費用負担の大きい航空機の改修等について民間の自助努力だけでは大がかりな定期整備等の時期を待たなければならない。また、国が行うことで、広く全国の空港をカバーしたすることが可能となり、省CO2化に対応した機器等を集中的かつ効率的に導入することが可能となる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	/			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	/			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	/			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	/			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	予算の範囲で効率的・効果的に効果が得られるよう事業の実施に努める。				
外部有識者の所見					
/					
行政事業レビュー推進チームの所見					
/					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
/					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
/	平成22年	平成23年	平成24年	/	

※新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

以下の事業フロー図に示す事業実施を想定している。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)